

山梨県立かえで支援学校へスポーツ用品を贈呈

山梨県スポーツ専門店協同組合（組合員13社、中澤信二理事長）は、11月1日に児童養護施設の山梨県立かえで支援学校を訪れ、子どもたちが学校等で使用するスポーツ用品を贈呈した。当日の贈呈式は、組合を代表して中澤信二理事長と田邊景一郎理事が出席し、校長の荒川昌浩氏にモルックセットを手渡した。

この事業は、全国のスポーツ専門店の組合が、毎年「スポーツの日」にあわせ各都道府県内の児童養護学校や養護施設などを選定し、スポー



贈呈式の様子
中澤理事長(左) 田邊理事(中) 荒川校長(右)

山梨県スポーツ専門店協同組合

ツ用品を贈呈しているもので、学校等での運動習慣と体力の向上を図ることや、スポーツを通じ人との関わりや協調性を学ぶ機会とするために活動を行っており、山梨県においては、スポーツ用品を贈った学校や施設は今年で19校目となる。

かえで支援学校の荒川校長は、「学校の休み時間やレクリエーションなどで、頂いたモルックセットで生徒同士の交流の機会ができることや、生徒が体を積極的に動かす機会ができ大変ありがたい。」と語った。

中澤理事長は、「スポーツ用品を贈ることで、養護学校や施設で学ぶ子どもたちに、仲間とスポーツの楽しさや感動を感じてもらえることができれば嬉しい。スポーツは心身の健康と豊かさに繋がるものである。それを支えるために、安心して使用できるスポーツ用品を提供することが大切であり、今後も組合事業を通じて社会に貢献できるような活動を行っていきたい。」と語った。

